

岡山県感染症週報 2013 年 第 32 週 (8 月 5 日～8 月 11 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2013 年 第 32 週 (8/5～8/11) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 30 週 2 類感染症 結核 1 名 (80 代 男)

第 31 週 2 類感染症 結核 5 名

(20 代 女 1 名、60 代 男 2 名、70 代 男 1 名、80 代 女 1 名)

第 32 週 2 類感染症 結核 5 名

(20 代 女 1 名、30 代 女 1 名、40 代 男 1 名、50 代 女 1 名、70 代 男 1 名)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 4 名

(O26: 幼児 女 1 名、小学生 男 2 名、30 代 女 1 名)

5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (50 代 男)

後天性免疫不全症候群 1 名 (40 代 男)

■定点把握感染症発生状況

○手足口病は、県全体で 353 名 (定点あたり 7.69 → 6.54 人) の報告があり、前週より減少しました。

○ヘルパンギーナは、県全体で 131 名 (定点あたり 2.52 → 2.43 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第 32 週に 4 名の報告があり、これまでの累計報告数が 42 名となりました。岡山県では、7 月 10 日に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令し、注意喚起を図っています。例年 7 月、8 月は 1 年のうちで最も発生が多くなることから、今後も更なる注意が必要です。手洗い等を徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで火を通すなど、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!』](#)をご覧ください。
2. **手足口病**は、県全体で 353 名 (定点あたり 7.69 → 6.54 人) の報告があり、前週より減少しましたが、備中地域を除く県内全ての地域で、依然として、発生レベルが 3 となっています。地域別では、真庭地域 (11.00 人)、倉敷市 (9.27 人)、岡山市 (9.21 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。発生のピークは越えたと思われるものの、依然、多くの患者が報告されていますので、患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い、手指の消毒を励行するとともに、おむつや便の取り扱い時には使い捨てのマスクやゴム手袋をするなど、感染予防に努めましょう。
全国の第 31 週の発生状況は、定点あたり 8.66 人でした。地域別では、新潟県 (18.25 人)、埼玉県 (17.15 人)、山梨県 (16.00 人)、の順で定点あたり報告数が多くなっており、九州地方や中国地方などの西日本での報告が多かった 27 週頃に比べて、中部地方や関東地方などの東日本へと、流行地域がシフトしています。
3. **ヘルパンギーナ**は、県全体で 131 名 (定点あたり 2.52 → 2.43 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。岡山市、倉敷市、備北地域で、ひきつづき発生レベル 3 となっています。症状がおさまっても、2～4 週間の長期間にわたり、便の中にウイルスが排出されることもありますので、手足口病と同様に、感染予防に努めましょう。
4. **風しん**は、発生報告はありませんでした。岡山県の第 32 週までの報告累計は 71 名となっています。全国の第 31 週までの累計報告数は、昨年同時期の約 12 倍となる 13,509 名で、ピークは過ぎたと思われるものの、依然、多数の患者が発生しています。第 31 週の時点で、一週間の発生報告数が、大流行と言われた昨年のピークと同程度となっていますので、ひきつづき感染予防に努めてください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★★★	伝染性紅斑		
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		★
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】 前週からの推移:

 : 2 倍以上の減少

 : 1.1～2 倍未満の減少

 : 1.1 未満の増減

 : 1.1～2 倍未満の増加

 : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし

★: 僅か

★★: 少し

★★★: やや多い

★★★★: 多い

★★★★★: 非常に多い

※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

保健所別報告患者数 2013年 32週 (2013/08/05～2013/08/11)

2013年9月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	13	0.24	3	0.21	3	0.27	—	—	6	0.86	1	0.25	—	—	—	—
咽頭結膜熱	9	0.17	2	0.14	4	0.36	—	—	—	—	1	0.25	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	0.54	14	1.00	6	0.55	7	0.70	1	0.14	1	0.25	—	—	—	—
感染性胃腸炎	256	4.74	56	4.00	61	5.55	68	6.80	16	2.29	12	3.00	13	6.50	30	5.00
水痘	28	0.52	9	0.64	6	0.55	8	0.80	—	—	1	0.25	2	1.00	2	0.33
手足口病	353	6.54	129	9.21	102	9.27	39	3.90	14	2.00	14	3.50	22	11.00	33	5.50
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	22	0.41	9	0.64	5	0.45	4	0.40	3	0.43	1	0.25	—	—	—	—
百日咳	3	0.06	1	0.07	1	0.09	—	—	—	—	1	0.25	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	131	2.43	41	2.93	23	2.09	17	1.70	17	2.43	14	3.50	7	3.50	12	2.00
流行性耳下腺炎	1	0.02	—	—	—	—	1	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	2	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2013年 32週 (2013/08/05～2013/08/11)

2013年9月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	9	0.17	2	0.14	4	0.36	—	—	—	—	1	0.25	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	0.54	14	1.00	6	0.55	7	0.70	1	0.14	1	0.25	—	—	—	—
感染性胃腸炎	256	4.74	56	4.00	61	5.55	68	6.80	16	2.29	12	3.00	13	6.50	30	5.00
水痘	28	0.52	9	0.64	6	0.55	8	0.80	—	—	1	0.25	2	1.00	2	0.33
手足口病	353	6.54	129	9.21	102	9.27	39	3.90	14	2.00	14	3.50	22	11.00	33	5.50
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	3	0.06	1	0.07	1	0.09	—	—	—	—	1	0.25	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	131	2.43	41	2.93	23	2.09	17	1.70	17	2.43	14	3.50	7	3.50	12	2.00
流行性耳下腺炎	1	0.02	—	—	—	—	1	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	2	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3を示しています。
今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2013年 第32週 2013/08/05～2013/08/11)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	13	2	3	3	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	-	-	2	-	2	1	1	-	1	-	1	1	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	-	-	-	2	4	1	3	4	5	-	3	4	1	2
感染性胃腸炎	256	3	33	44	37	21	16	13	13	7	7	9	24	7	22
水痘	28	1	2	4	6	1	2	6	2	2	-	1	1	-	-
手足口病	353	2	43	121	69	37	25	24	7	5	4	3	9	1	3
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	22	-	7	13	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	131	1	10	33	24	25	14	8	7	1	1	3	2	-	2
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-

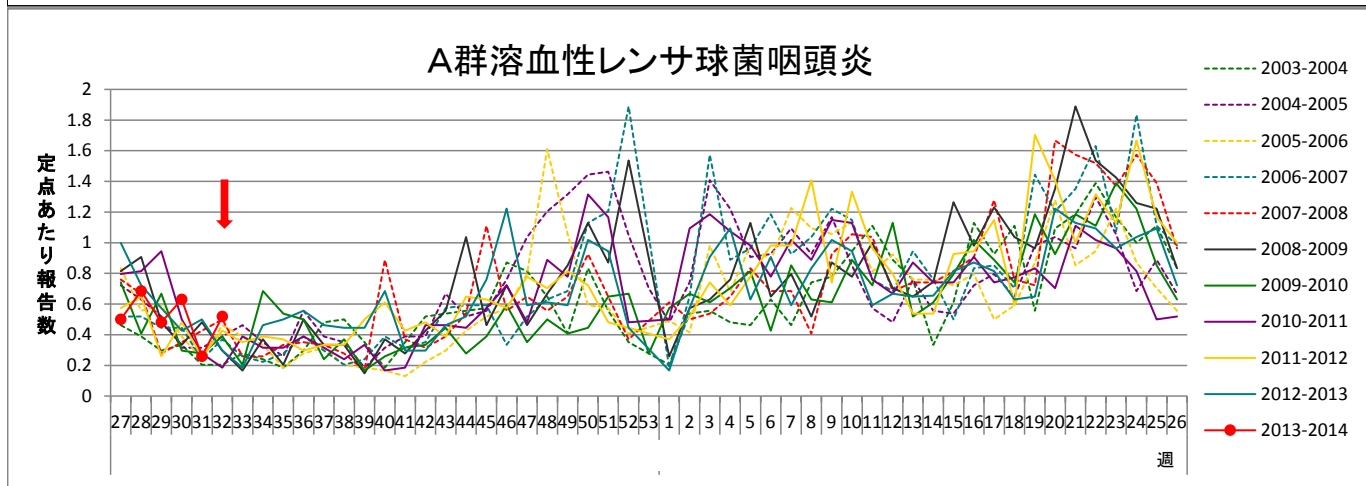
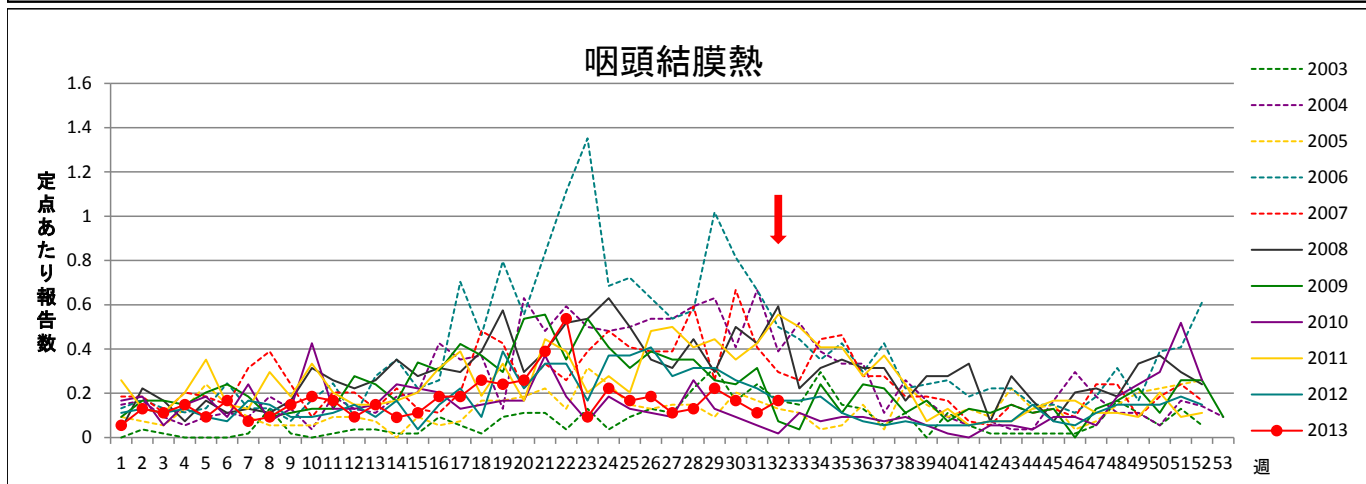
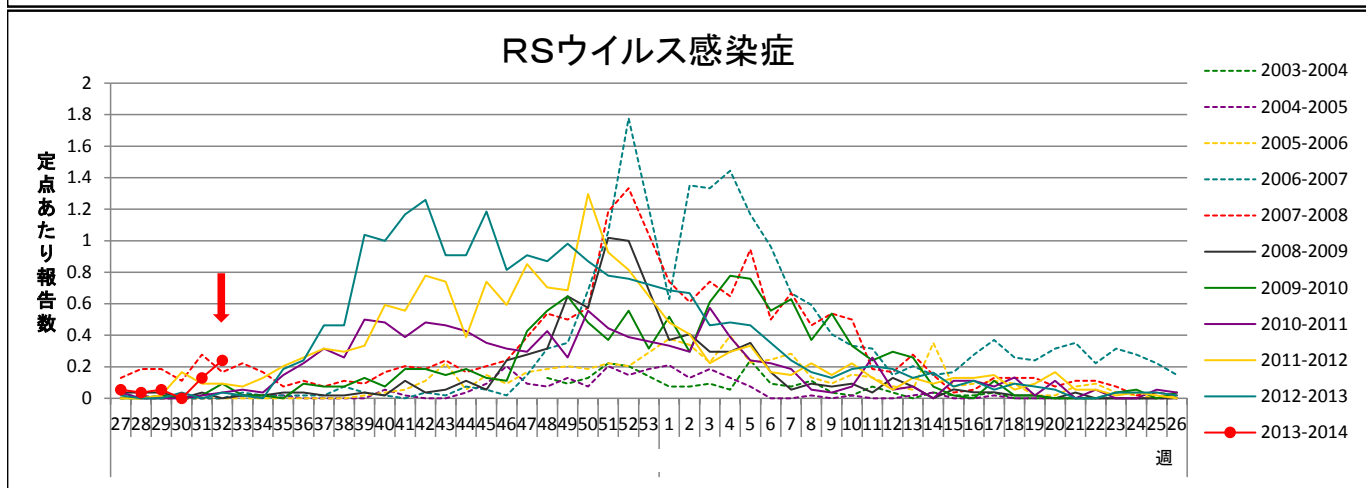
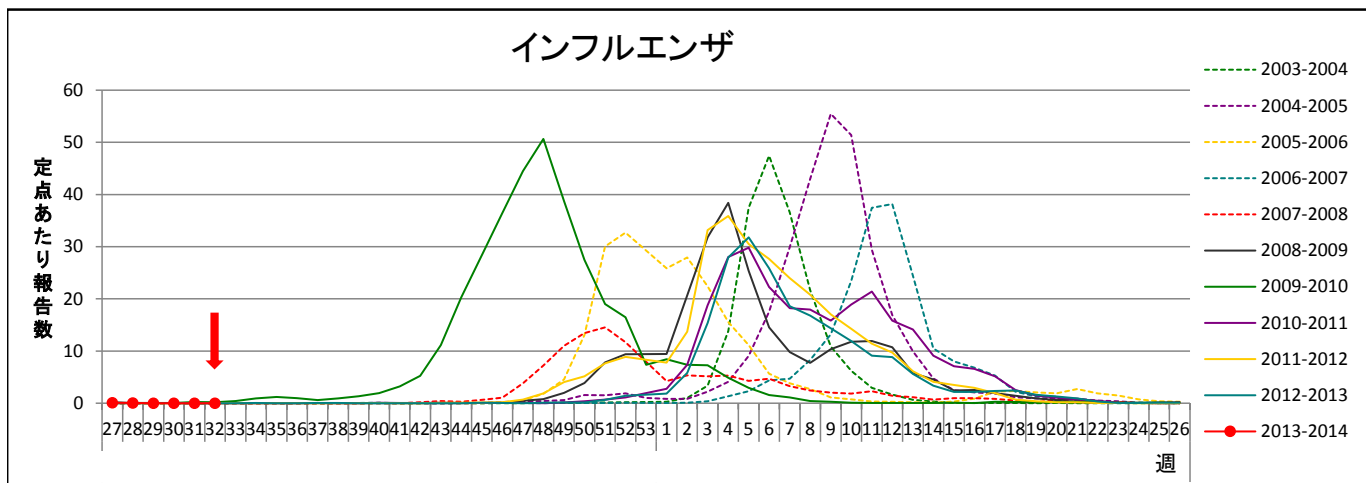
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

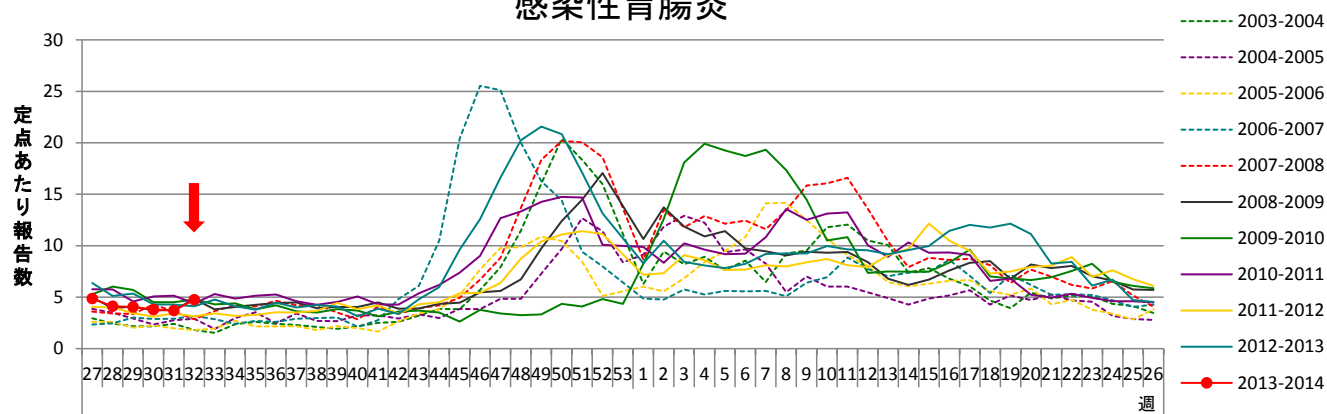
全数把握 感染症患者発生状況

2013 年 32 週

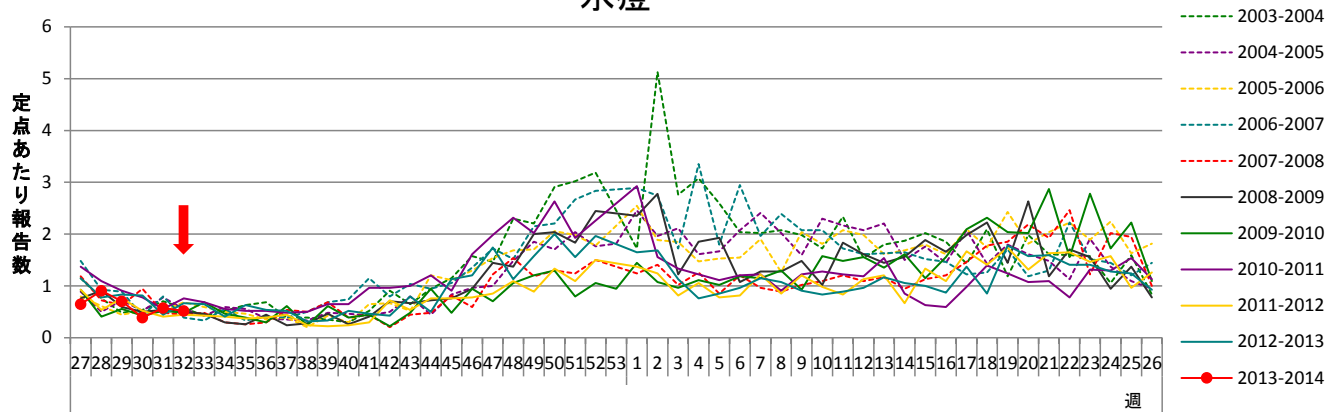
分類	疾病名	2013		2012	疾病名	2013		2012	疾病名	2013		2012
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	5	225	477	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	4	43	169
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	5	2
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	2	-	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	13	29	レプトスピラ症	-	1	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
五類	アメーバ赤痢	1	8	11	ウイルス性肝炎*3	-	6	7	急性脳炎*4	-	4	2
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	3	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	1	8	16	ジアルジア症	-	-	3	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	-
	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	10	-	先天性風しん症候群	-	-	-
	梅毒	-	3	7	破傷風	-	2	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	2	風しん	-	71	6	麻しん	-	2	6



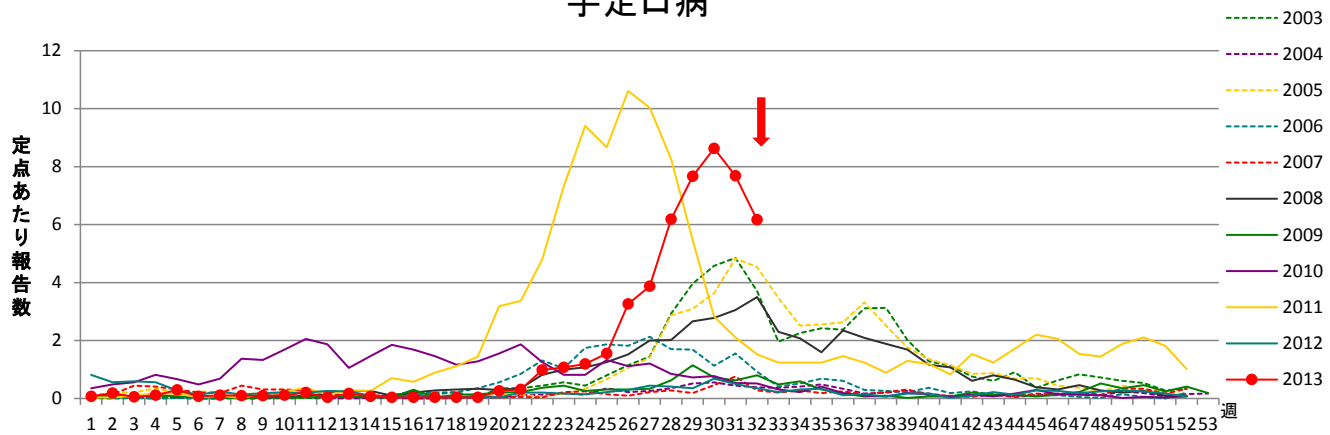
感染性胃腸炎



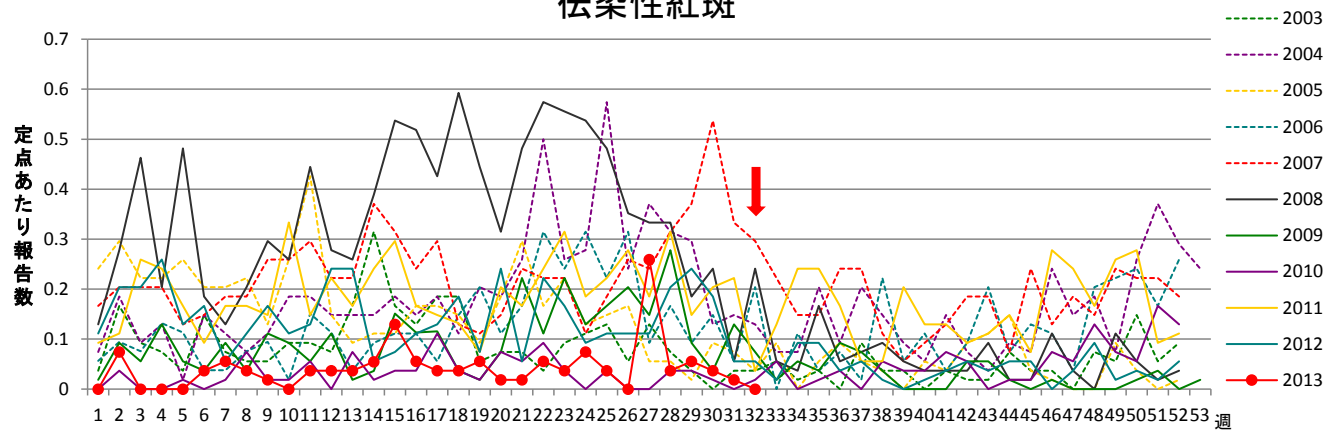
水痘



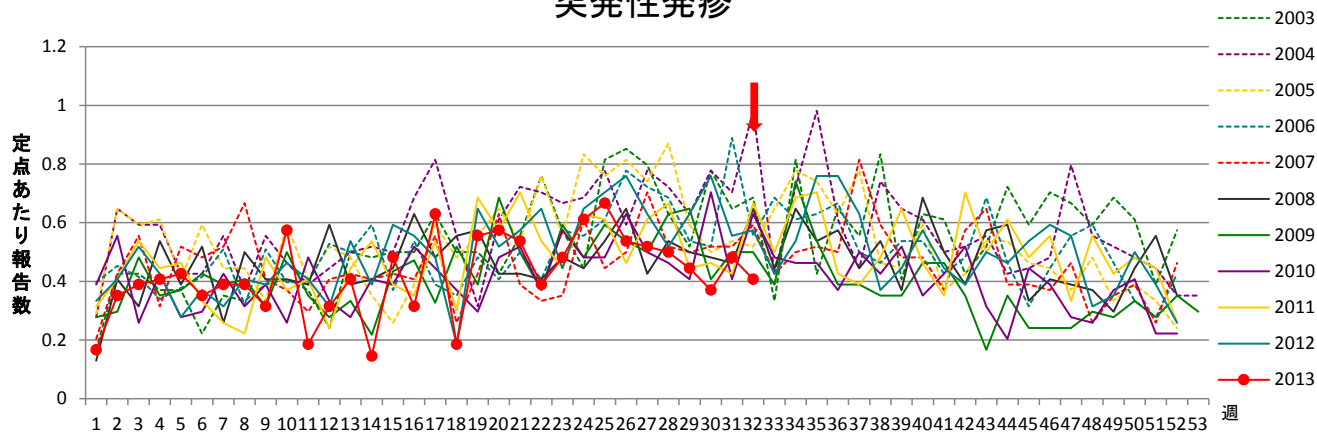
手足口病



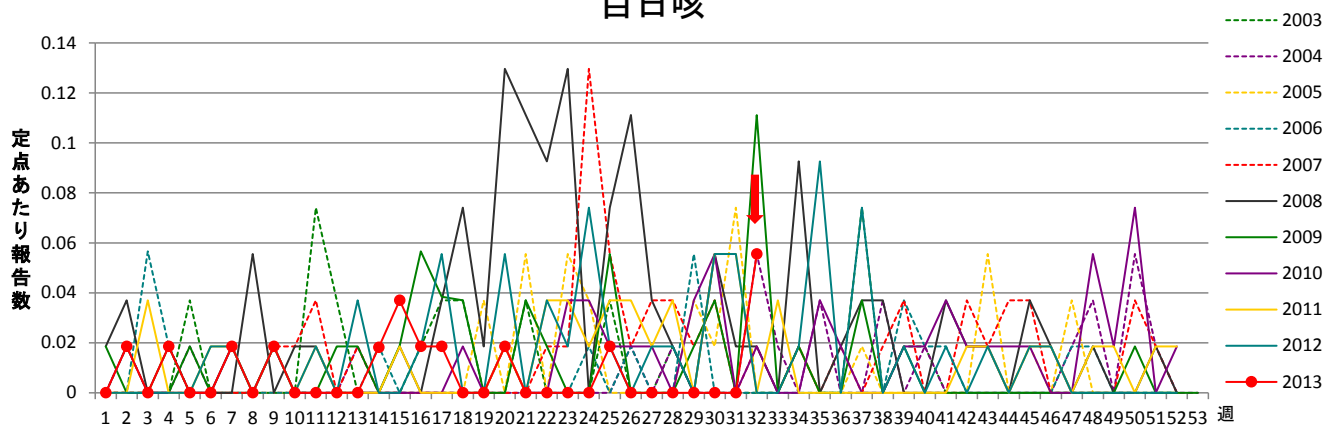
伝染性紅斑



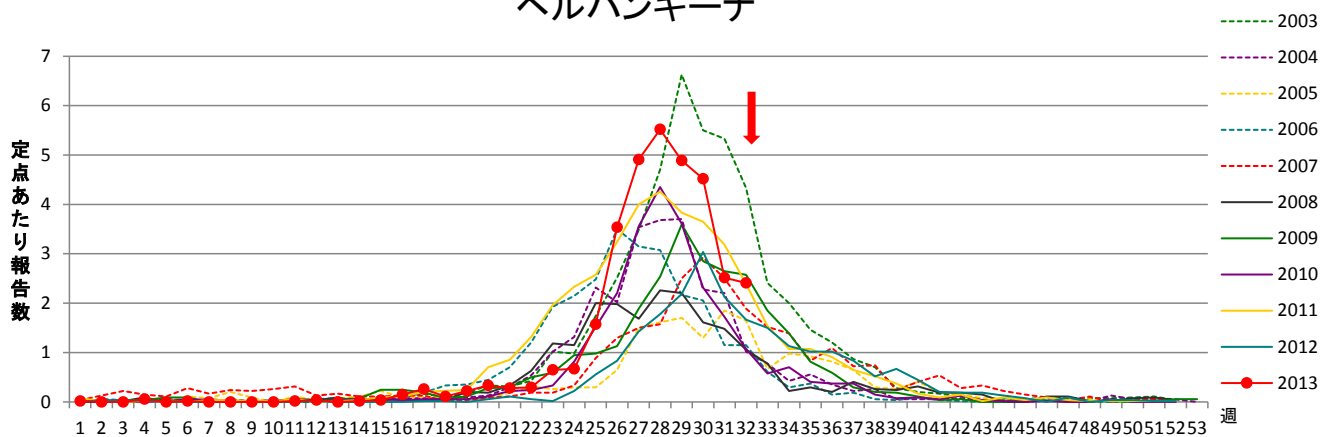
突発性発疹



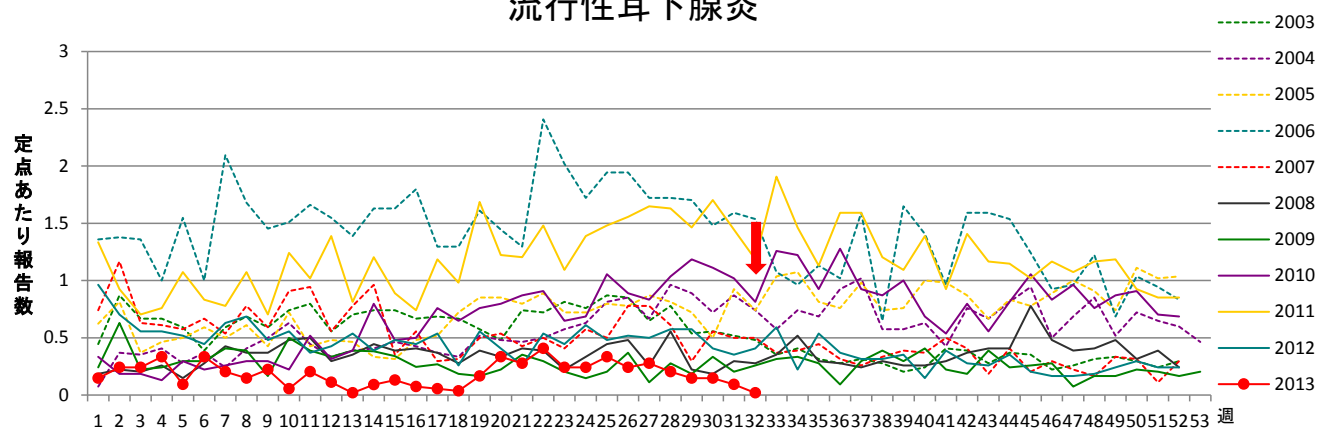
百日咳



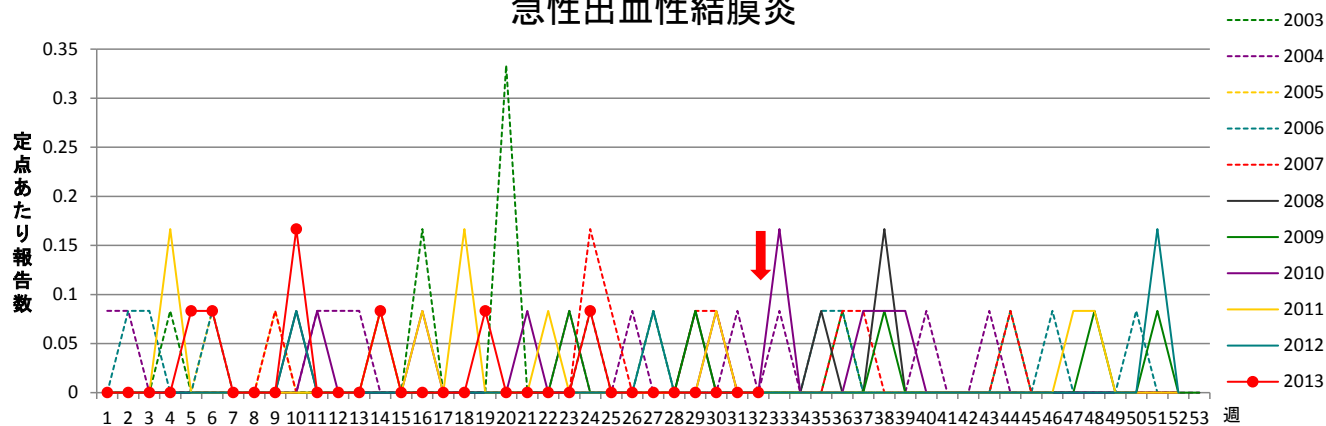
ヘルパンギーナ



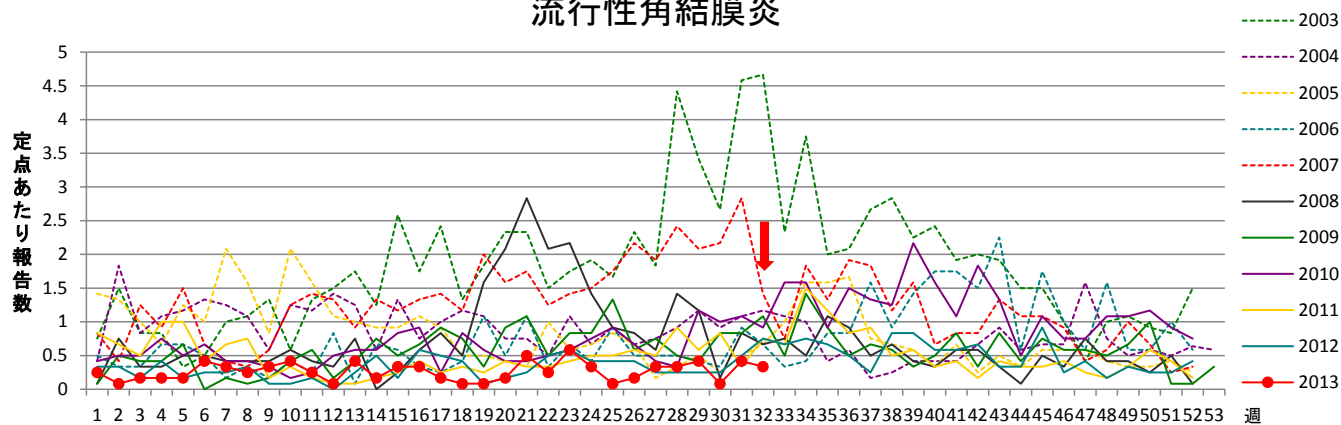
流行性耳下腺炎



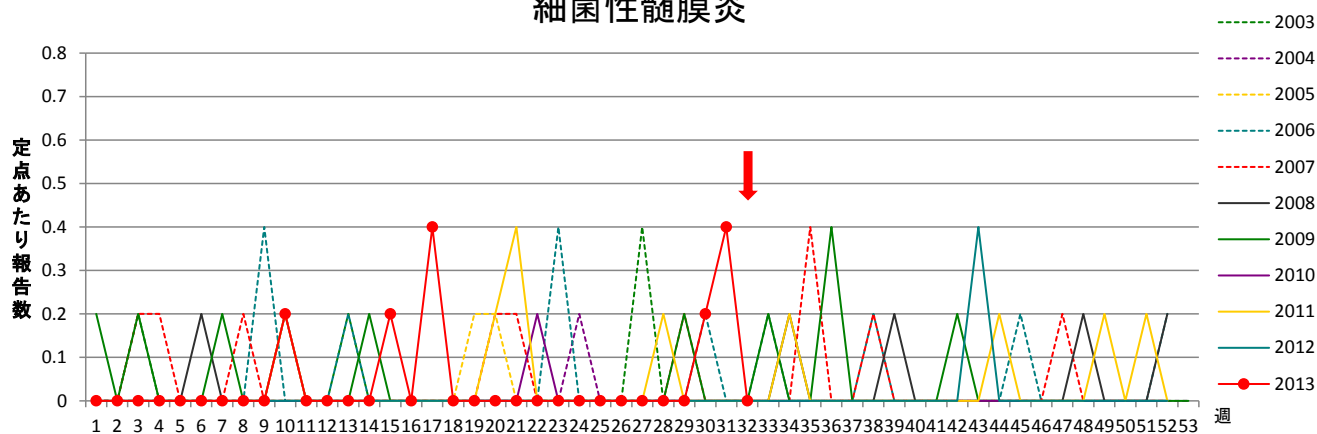
急性出血性結膜炎



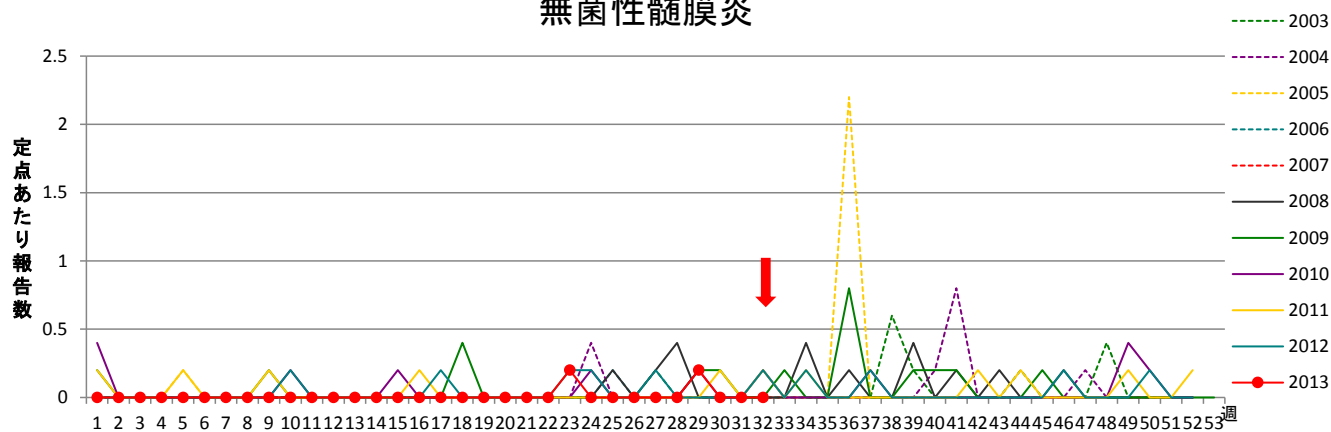
流行性角結膜炎



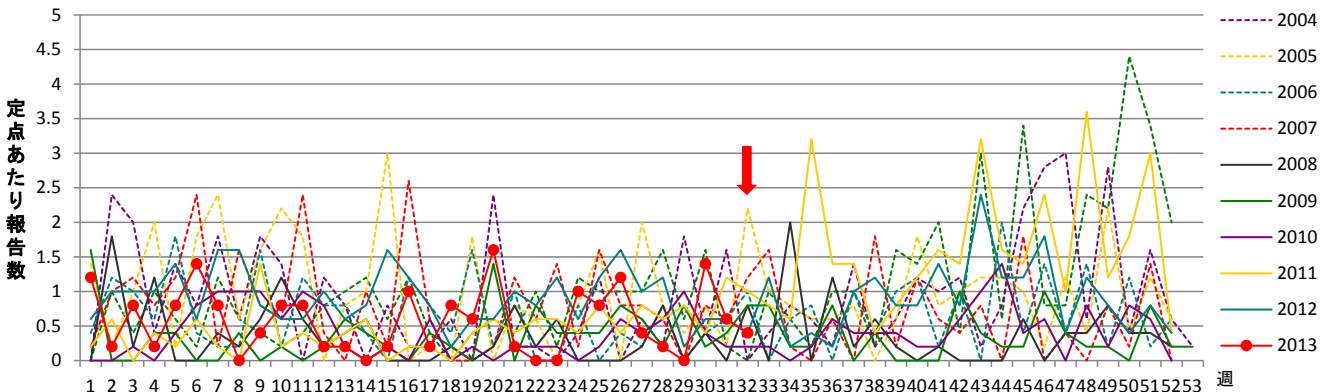
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

